

乳幼児学校保健委員会

5月30日(月) 19:30～

ハイブリッド

協議事項

1. 新型コロナウイルス感染症について
 - ・ 第5波以降のかかりつけ医による対応等について報告。
 - ・ 小児の重症例はないが、自宅療養中の電話再診の負担は大きい。
 - ・ 2022～23シーズンのインフルエンザの時期にコロナも合わせた対応を行うことには課題が予想される。
2. 予防接種 接種率について
 - ・ HPVVについて、キャッチアップ世代は小児科にはあまり来ない。他科への働きかけ、診療体制の周知に協力をお願いした。
3. 各医療圏より小児救急の状況について
 - ・ いずれの医療圏も平均年齢が高い。夜間の対応時間短縮により負担は減らせるが、二次救急の負担を考慮し、調整をする必要がある。
 - ・ コロナの迅速検査に対応しなければインフルエンザシーズンを乗り切れないが、看護師が迅速検査対応を受け入れるかどうか温度差がある。夜間働く看護師の確保が困難であり、無理は言えない。
4. 小児在宅について
 - ・ 医療的ケア児学校受け入れまだハードル高い
 - ・ 個別避難計画策定中、まだ福祉避難所の指定段階に至っていない。
5. 乳幼児学校保健講習会
 - ・ 7/20 文科省専門官によるいじめ・自殺・不登校の研修会を開催。
 - ・ 10/12 トラウマインフォームドケアに関する研修会を行う。
6. その他
 - ・ コロナ抗原検査キットを富山県が20万回分購入しているが、入札し適正価格で購入しているのか？県民の税金であり、不当に高い価格で購入しているとしたら問題だ。
→本委員会とは関連しない質問だが、県に確認し回答する。